

川重テクノロジー 分析装置ギャラリー

電子線マイクロアナライザー (EPMA)

装置概要

細く絞った電子線を試料に照射(電子線による励起)し、その部分から発生してくる特性X線を検出して、元素の種類、濃度などを調べることが可能です。

また、固体の試料をほぼ非破壊で分析でき、単純な元素の定性・定量分析以外にもマッピング測定が可能です。(下記参照)

なお、弊社所有の装置は波長分散型の分光器(WDS)を搭載しているため、超軽元素から重元素まで検出可能です。さらに、波長分解能が優れており、近接のピークと重なることが少ないため、信頼性の高いデータが得られます。

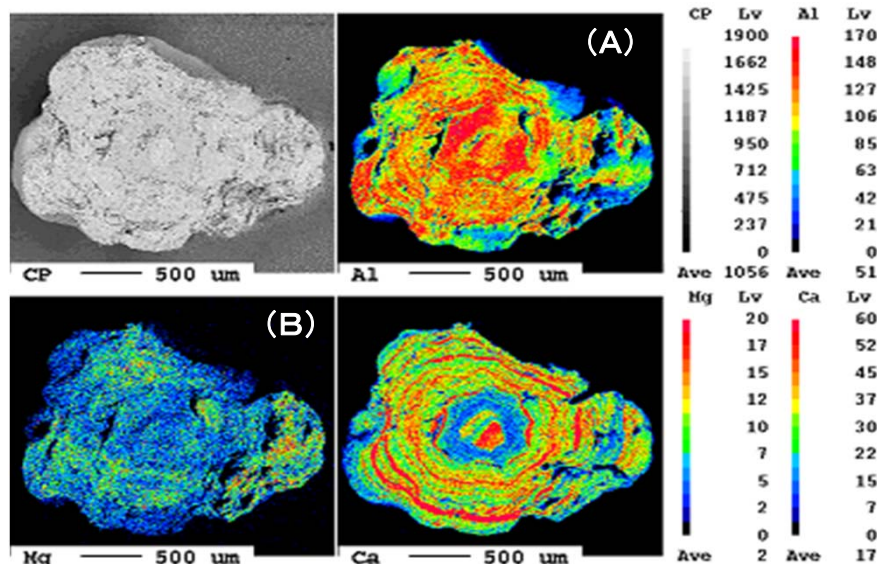


日本電子製 電子線マイクロアナライザー
JXA-8100

主な利用範囲

- ・金属組織中の析出物や介在物の組成分析・合金の組成分析及び定量分析
- ・異種材料界面の拡散状態の解析など

マッピング測定



(A)では、赤い部分ほどアルミニウム(Al)が多く含まれていることを示しています。

(B)では、青い部分が多く、マグネシウム(Mg)はあまり含まれていないことを示しています。

川重テクノロジー株式会社

分析・環境評価

URL: <http://www.kawaju.co.jp>

お問い合わせは

明石 078-921-1663

神戸 078-682-5258

東京 03-3435-2485